

第3章 評価の結果に対する対応方針

分科会の評価結果を受けて、国土技術政策総合研究所では以下のように対応する。

■平成25年度第3回国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会（第一部会）

- ・津波防災地域づくりにおける自然・地域インフラの活用に関する研究（事前評価）
（評価時課題名：津波防災地域づくりにおける自然インフラの活用に関する研究）

評価結果を踏まえ、自然物だけでなく、歴史的地物や生活と結びついた地域的なインフラも対象に含まれることがわかるように、課題名の「自然インフラ」を「自然・地域インフラ」に変更した。「自然・地域インフラ」の定義を明確にした上で、複数の地域を対象に活用可能な自然・地域インフラの存在状況を調査し、自然・地域インフラの種類ごとに特有の条件、環境の違いの整理を行い、一般化を図ることも視野にいれて研究を進めて参りたい。

また、国土交通省が所有しているレーザープロファイラーによる測量データや、空中写真・衛星画像の解析技術も有効に活用して参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

- ・リスクマネジメントの観点を組み込んだ維持管理の持続性向上手法に関する研究（事前評価）

評価結果を踏まえ、研究実施にあたっては、研究計画・内容について、各管理主体や各施設で想定する老朽化を明確化し、発生する被害、影響の大きさや特質、管理上の制約に応じて、無理なく持続できる維持管理方法が判断できるよう、具体性をより深めた上で、地方公共団体にとっても役立つように、研究を進めて参りたい。

また、リスクマネジメントの観点からは、維持管理の過程で解決あるいは予見が困難な未知・未発見リスクを明確にしつつ、検討を進めて参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

■平成25年度第4回国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会（第二部会）

- ・巨大地震に対する中低層建築物の地震被害軽減技術に関する研究（事前評価）

評価結果を踏まえ、研究実施にあたっては、建築基準法における技術基準への適用に向けた検討を行うなど国総研の役割を明確にした上で、施工コストとライフサイクルコストまで含めたコスト面での検討やこれまでの建物地震被害パターンを視野に入れた事例解析を通じた設計思想全体の明確化に向けた検討に取り組む等、実用化に向けた課題にも留意し、研究を進めて参りたい。

その他、政策メニューとの連動等、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

・都市の計画的な縮退・再編のための維持管理技術及び立地評定技術の開発（事前評価）

評価結果を踏まえ、研究実施にあたっては「郊外市街地の計画、維持管理技術の開発」とあわせて、都市の中心部や郊外の跡地活用において新産業誘導を図る「新産業の立地評定技術の開発」を進めることで、集約型都市構造への転換をより効果的に促進するという両者の関連性に留意しつつ、本研究課題の対象となる市街地や新技術・新産業を大都市圏と地方都市圏において選定し、研究成果の活用方策を視野に入れながら研究を進めて参りたい。

また、「郊外市街地の計画、維持管理技術の開発」にあつては、市街地の縮退・再編に係る社会的な要素も考慮し、プロセスマネジメント的視点も加味して研究を進めて参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

・住生活満足度の評価構造に基づく住宅施策の効果的実施手法に関する研究（事前評価）

評価結果を踏まえ、研究実施にあたっては、研究成果が政策のP D C Aサイクルに活用できる実践的で有用なものとなるよう、調査結果の客観性に十分配慮しつつ、系統的・継続的な調査の必要性に留意して研究を進めて参りたい。

また、住生活満足度の評価に係る実態調査については、調査対象に偏りが生じないような効果的な調査手法について十分配慮するとともに、今後の世帯や住まい方の概念の変化や、地方性・風土性の視点にも留意しつつ研究を進めて参りたい。さらに、住生活満足度の評価構造については、採用する分析手法を慎重に検討して研究を進めて参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

・地震時の市街地火災等に対する都市の脆弱部分及び防災対策効果の評価に関する研究（事前評価）

評価結果を踏まえ、研究実施にあたっては、予め今年度から有識者や地方公共団体等のヒアリング調査に着手し、既存の研究成果も十分に反映し研究範囲を社会的必要性の高い部分に絞った上で、効率的に研究を進めて参りたい。また、地方自治体等へのシミュレーションの普及については、地方自治体の職員がスペックの高いシミュレータを直接利用するという方向に限定せず、国総研や大学研究者がシミュレーションにより得た研究成果等を地方自治体が活用することや都市計画コンサルタントがデータ構築とシミュレータの操作を行うことを通じて地方自治体が活用するという方向等を推進する方策も併せて検討していくこととしたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

■平成 25 年度第 5 回国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会（第三部会）

・空港舗装の点検・補修技術の高度化に関する研究（事前評価）

評価結果を踏まえ、研究の実施にあたっては国内他分野の舗装技術や他国の事例なども広く参考にし、かつ既存技術との比較についても十分に行うとともに、成果の普及活用についても関係規程類等への反映等に留意して進めて参りたい。また、ご指摘のあった既存技術の適切な組み合わせによる方法をとる際は、技術の取捨選択および評価の方法論の重要性を十分に認識し進めて参りたい。

その他の、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。